

# 大 祓 詞

高天原に神留坐す 皇親神漏岐 神漏美の命以  
ちて八百萬神等を神集へに集へ賜ひ 神議りに  
議り賜ひて 我が皇御孫命は 豊葦原水穗國を  
安國と平けく知らし食せと 事依さし奉りき  
此く依さし奉りし國中に 荒振る神等をば 神  
問はしに問はし賜ひ神掃ひに掃ひ賜ひて 語問  
ひし磐根 樹根立草の片葉をも語止めて 天の  
磐座放ち 天の八重雲を伊頭の千別きに千別き  
て天降し依さし奉りき 此く依さし奉りし四方  
の國中と 大倭日高見國を安國と定め奉りて  
下つ磐根に宮柱太敷き立て 高天原に千木高知  
りて皇御孫命の瑞の御殿仕へ奉りて 天の御蔭  
日の御蔭と隠り坐して 安國と平けく知らし食  
さむ國中に成り出でむ天の益人等が 過ち犯し  
けむ種種の罪事は 天つ罪 國つ罪 許許太久  
の罪出でむ 此く出でば 天つ宮事以ちて 天  
つ金木を本打ち切り 未打ち斷ちて 千座の置  
座に置き足らはして 天つ菅麻を本刈り斷ち  
未刈り切りて 八針に取り辟きて 天つ祝詞の  
太祝詞事を宣れ